

防災通信

No.37号

2022年7月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

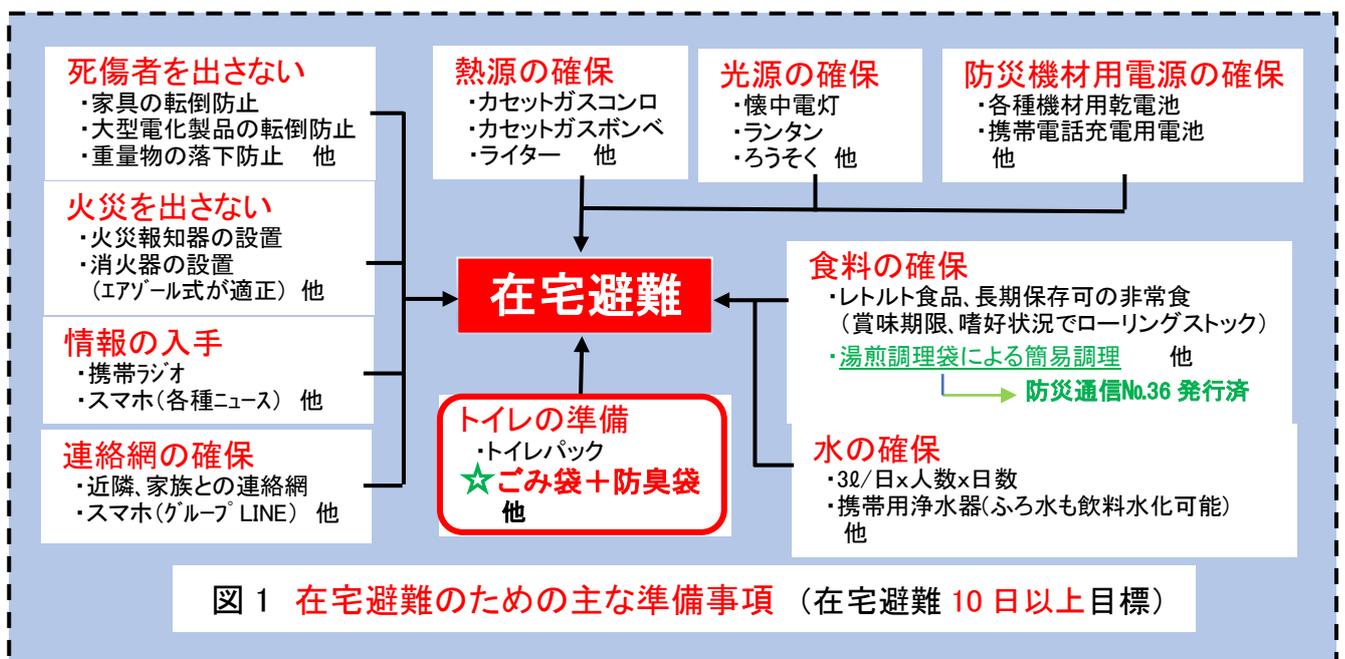
災害発生時、特にマンションでは**在宅避難**が基本であり、その重要性和必要な事前準備の概要を防災通信No.35号で掲載しました。

災害時、在宅避難に勝る環境はありません。まずは在宅避難ができる準備(※)が最重要です。

(※ 基本インフラ;電気・ガス・水道(上水/下水)・固定電話の欠如を前提として事前に準備しておく)

在宅避難するための主な準備事項は下図(図1)のとおりですが、**具体的活用方法**を前号(No.36号)から順次紹介しています。

本号では「BOS材防臭袋使用による簡易トイレ」(図1 **トイレの準備** ☆印)を紹介します。



[大地震(震度5強以上)発生時における自宅トイレの使用可否]

1. 自宅トイレの使用禁止～解除

使用禁止⇒大地震(震度5強以上)発生時、自宅トイレは使用禁止

禁止解除⇒「汚水排水管破断の有無確認」の結果、災害対策本部から「使用可」の指示が出たとき

継続使用禁止⇒汚水排水管に破断があった場合は災害対策本部から「継続使用禁止」の指示が出る

2. 家庭で準備すべき簡易トイレの標準的備蓄数(トイレ使用回数)

「7回/1日×7日×人数」⇒トイレパックをこの個数備蓄することはコスト的にも現実的でない。

ここで、防臭性能上、コスト的にも優れている「BOS材防臭袋使用による簡易トイレ」を紹介します。

(裏面に記載)

[BOS 材防臭袋使用による簡易トイレ]

1. 簡易トイレ(通常のごみ袋+BOS 材防臭袋)のメリット

- ① 長期保管しても殆ど匂わない。
(行政のごみ回収が始まるまで自宅保管が必要である)
- ② 使用時のセット、用済み後の処理も簡単である。
- ③ 費用が安価である。(用足し毎のトイレパック使用は高額となる)

2. 用意するもの

- ・一般のポリ袋
- ・**BOS 材(※)防臭袋** (右写真参照)

※ **BOS 材** / クリロン化成: 人口肛門排泄物の袋用に開発された素材であり、家の中に置いても殆ど匂わない。
おむつ用、生ごみ用などの名目で販売されている。

— 重要 —
”BOS”表示あり

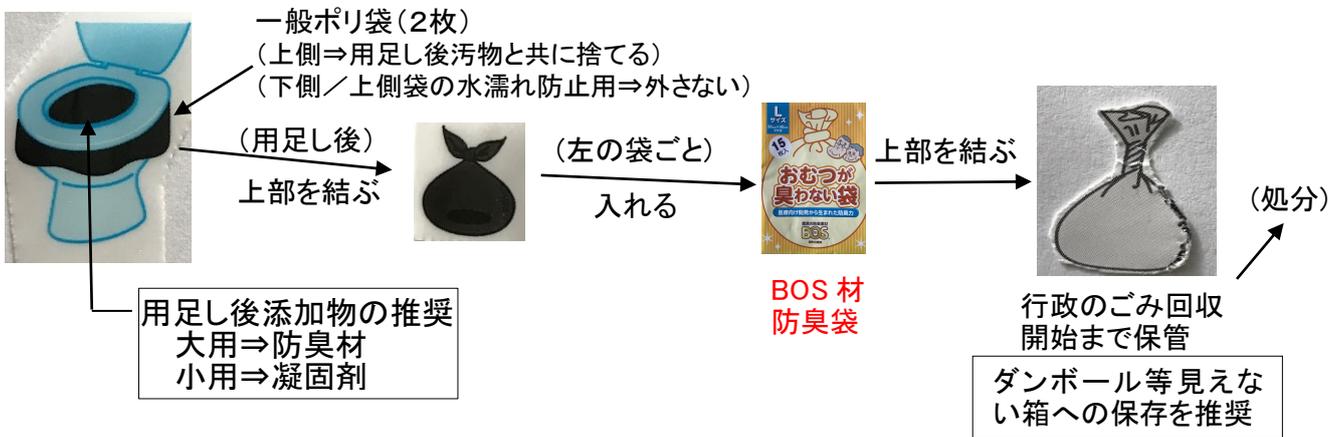


BOS 材防臭袋(おむつ用例)
・価格: 250 円前後
(30x40 cmx15 枚入り)
・入手先: 西松屋 他
又は NET 購入

3. 簡易トイレの使用法

- ① 一般ポリ袋(2枚)を自宅トイレの便座にかぶせて用を足す。
(下側のポリ袋は上側のポリ袋の水濡れ防止用につき用済み後も外さない / 白・透明袋でも可)
- ② 用足し後一般ごみ袋をなるべく小さくして上部を結ぶ。
- ③ ②の袋を BOS 材防臭袋に入れて同様に結ぶ。

以上、詳細は下図参照



次号防災通信の予定 ⇒ 「死傷者を出さない」ための準備

《 防災隊ホームページ閲覧のお勧め 》

「**ドリーム燦燦**(サンサン)」 インターネットから 検索

(本HPは深谷台地域運営協議会および構成団体等から、地域への広報ツールとして運営)

タイトルページ右下部「**県ドリームハイツ防災隊トップ**」ボタンをクリック ⇒ **防災隊のHP**が表示
→ 防災隊の各種活動、防災マニュアル、防災通信などが掲載されています。